

## 注意!! 特定外来生物

### オオバナミズキンバイ



花



茎  
越冬時は赤色



実



匍匐茎からは  
丸みのある葉



花茎からは細長い葉

#### 【特徴】

- ・黄色の5弁花(径4cm程度)
- ・葉は茎から互い違いに生える(互生)
- ・葉の色が濃く、脈が白っぽい(形はいろいろ)
- ・茎は「節」の部分で太くなり、表面全体に細く短い毛が密生する
- ・熟すと赤茶色になる実ができ、その中に多数の種子ができる
- ・匍匐茎は地面を這いながら枝分かれし、各節から根を出す
- ・花茎は上に伸び、稲穂の間から花を咲かせる
- ・茎の断片からも栄養繁殖が旺盛で、水中でも陸上でも生育が可能

早期発見(畦沿い、水口、ヤードに多い)、早期駆除が重要ですが、  
外来生物法の特定外来生物なので、除去した直後、  
生きたままの移動は原則として禁止です。

また、刈り取った場所で放置すると、そこで根を下ろして定着します。  
このように、取り扱いが厄介なので…

#### 【見つけたら最寄りの農業農村振興事務所へご連絡ください】

大津・南部:077-567-5421 甲賀:0748-63-6127 東近江:0748-22-7727  
湖東:0749-27-2232 湖北:0749-65-6629 高島:0740-22-6028

その他、外来植物に関するご質問は、県自然環境保全課へ  
自然環境保全課 生物多様性戦略推進室:077-528-3483

## 注意!!

### ○機械除草はダメ！！

・刈り払い機での除草は、裁断された茎葉の飛散により、多数の個体を再生させる恐れがあるので避けください。(手間がかかるとしても、根までの「抜き取り」が基本です。)

### ○集落営農等、農機を共同利用する場合は要注意！

・発生ほ場での収穫や耕起の作業は、発生していないほ場での作業を終えてから、いちばん最後に実施してください。

※茎や葉の切れ端から旺盛に再生(栄養繁殖)することに加え、多数の種子を含んだ実も水に浮き、水に流されて各地へと拡散します。

※茎の成長する速度は、ナガエツルノゲイトウよりも速く、水面に沿って急速に茎や葉を成長させます。

※鳥が種子を食べ、その糞から種子が発芽することも確認されています。



給水機周辺繁茂



水路侵入

## 防除方法

### ○手取り除草・泥上げ作業

根も茎葉と一緒に駆除



メッシュ袋に入れるか、シートを敷くなどして、地面と遮断して枯死



※畦畔での除草を安易に行い、この植物を裁断、放置すると拡散する恐れがあります。

※除去した植物体や植物片が混入した泥を地面に放置すると、そこで根を下ろしてしまいます。

### ○薬剤防除(散布前に農薬登録およびラベル等を確認願います)

【畦畔】 非選択性除草剤の使用により、地上部は枯れます。しかし、地下部は生き残ることが多く、その場合、1~2か月程度で再生します。再生が見つかれば再度防除する必要があります。これを生育期間中に繰り返して行い、徐々には場から排除していきます。

【本田】 本田内に侵入した場合、効果の高い除草剤は確認されていないので、できるだけ畦畔からの侵入を防いでください。

### ○遮光シートによる被覆

・除草剤を用いない場合は、遮光率100%程度の遮光シートにより長期間(1.5~2年程度)被覆することでも、防除することができます。

**注意!!**

## 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の農地への侵入に注意しましょう!

### 特定外来生物『ナガエツルノゲイトウ』とは?



【来歴】南米原産の多年生草本植物（ヒユ科）。観賞用として日本に入ってきたとされる。

【特徴】水域から陸域まで幅広く生育が可能。7月～10月にシロツメクサの様な白い花が咲く。茎は横に這いながら枝分かれし、各節から根を出す。ゴボウの様な直根を持つ。

【性質】茎の切れ端からの栄養繁殖が極めて旺盛であり、拡散性が高く、定着すれば急激に増殖する。



### 特定外来生物とは?

- 指定されると法律（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）による規制を受ける。
- 海外起源の外来種であって、生態系、農林水産業等へ被害を及ぼすもの又は及ぼす恐れのあるものの中から指定され、①輸入、②飼育・栽培や保管・運搬、③野外に放つこと等が原則禁止されている。
- 違反した場合は、個人の場合、懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金が課せられる。

### なぜ、徹底した防除が必要か?

繁殖力旺盛で、根絶が困難、拡散性が高い。駆除方法が確立していない。

- 農業用水利施設の被害
  - ・マット状に繁殖し、水の流れをせき止める。
  - ・農業用排水路の維持管理作業に支障をきたす。など

#### ○農業の被害

- ・水田除草剤の効果が低く、畦畔からの侵入や繁茂が著しいと水稻の収量の減少や収穫作業等に支障をきたす恐れがある。
- ・根絶が困難で、生育スピードが速いため除草回数が増える。



県内で本田への侵入を確認

## 防除方法は？

### ○機械除草はダメ！！

- ・刈り払い機での除草は裁断された茎葉が飛散し、拡散する恐れがあるので避けてください。

### ○手取り除草・泥上げ作業

- ・地中深く入った根茎があるので、茎葉と一緒に駆除する必要があります。
- ・植物体や植物体の混入した泥を地面に放置しておくとそこで根を下ろして増えてしまいます。地面と接しないようビニールで遮断するなどして枯死させてください。枯死後は収集して運搬することができます。
- ・安易に裁断したり、畔に仮置き・放置すると拡散する恐れがあるため、注意してください。

### ○薬剤防除

【畔】 非選択性除草剤の使用により、地上部は枯れますが地下部は残るので、1～2か月程度で再生します。再生すれば再度防除します。これを生育期間中に繰り返して行うことで、徐々に衰弱することが確認されています。

【本田】 本田内に侵入した場合、効果の高い除草剤は確認されていないので、できるだけ畔からの侵入を防いでください。

### ○遮光シートによる被覆

- ・除草剤を用いない場合は、遮光率95%程度の遮光シートにより長期間（1.5年～2年程度）被覆することで防除することができます。

## その他の注意点

### ○集落営農等、農機を共通で使用する場合は要注意！

- ・発生ほ場での耕起作業は、発生していないほ場での作業を終えてから実施することとし、他所への拡散を防止する。

【見つけたら最寄りの農業農村振興事務所へご連絡ください】

大津・南部: 077-567-5421  
湖東: 0749-27-2232

甲賀: 0748-63-6127  
湖北: 0749-65-6629

東近江: 0748-22-7727  
高島: 0740-22-6028

・その他、外来水生植物へのご質問は自然環境保全課へ  
自然環境保全課 生物多様性戦略推進室 077-528-3483

# スクミリングガイの被害防止に向けた対策

近年、暖冬の影響によりスクミリングガイ（通称：ジャンボタニシ）の越冬量が多く、これまで以上に水稻への被害が目立っています。また、発生が見られなかった地域でも、新たに発生が確認されており、発生地域が拡大しています。被害を減らし、生息地を拡大させないためにも、地域の実状に応じて種々の防除法を組み合わせ、防除を徹底しましょう。

## スクミリングガイの生態について

### 形態

- ・リンゴガイ科の一種で、成貝は殻高2~7cm程度になります。
- ・在来のタニシよりも、螺旋上部の長さが短く、殻径と殻高の長さがほぼ同じ点で見分けられます。

### 産卵

- ・卵は濃いピンク色でよく目立ちます。
- ・卵塊は200~300個程度の卵から形成されます。ふ化後、約2か月で繁殖が可能となり、条件が良ければ3~4日に1度産卵します。

### 越冬

- ・水温15~35°Cで活動しますが、寒さに弱く、14°C以下では活動を停止します。冬期は、ほ場や用排水路の土中に潜って越冬します。

### 被害

- ・柔らかい植物を好むため、田植直後から3週間程度までの水稻を食害します。

### 在来タニシとの見分け方



スクミリングガイ



在来タニシ



イネに産卵された卵塊



被害の目立つほ場

## 主な防除法について

地域の実状に応じて防除技術を組み合わせましょう

### ○収穫後～移植前

#### ・冬期の耕うん：

厳冬期前のロータリーゲンうんにより貝を物理的に破壊するとともに寒風にさらします。※ 耕うんピッチを小さくし、低速（速度の目安：0.2km~0.6km/h：より低速の方が効果が高い）で土壤を細かく碎くことで殺貝効果が高まります。

（右図は白く着色した貝殻を埋設し、耕うん速度の違いによる貝殻の破壊率を比較したもの）



### ○移植時～移植後

#### ・浅水管理：水深が浅いと活動を制限できるため、水深を4cm以下（理想は1cm以下）に維持しましょう。

#### ・薬剤防除：移植直後の被害が出る前に散布しましょう。

薬剤散布後、確実な効果のため少なくとも3~4日間は湛水状態（水深3~5cm）を保ち、約1週間は落水、かけ流しをしないようにしましょう。

※薬剤防除に当たっては、必ず登録薬剤を使用し、使用時期や使用方法、使用量などの農業登録を守りましょう。

### ○殺卵

移植前までに畦畔などに産み付けられた卵塊を除去しましょう。卵の色が濃いピンク色の場合は水中で呼吸できないため、水中に削り落としても効果があります。

※卵の色が黒～白っぽい場合は、押しつぶす必要があります。

## お問い合わせ先

**病害虫防除所** TEL 0748-46-4926  
農業経営課 TEL 077-528-3842

大津・南部農産普及課	TEL 077-567-5421
甲賀農産普及課	TEL 0748-63-6127
東近江農産普及課	TEL 0748-22-7727
湖東農産普及課	TEL 0749-27-2232
湖北農産普及課	TEL 0749-65-6629
高島農産普及課	TEL 0740-22-6028

## 発生地域の拡大防止に向けて

#### ・農業機械の洗浄：

未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、発生ほ場で農業機械を使った後は、泥をしっかり洗い落としましょう。